

【科目情報】

授業コード	1FCB621010	科目ナンバリング	FCALAW84021-J1
授業科目名	国際経済法		
担当教員氏名	平 覚		
開講年度・学期	2022年度後期	曜日・時限	水曜4限
授業形態	講義		
単位数	2単位		

【シラバス情報】

授業概要	この授業では、国際貿易に関する国家間関係を規律する基本的法的枠組であるWTO法（世界貿易機関の下での諸協定その派生法の体系）を検討し、WTOの下での自由貿易体制とそれが抱える今日的な問題を理解し、かつ解決するための法的リテラシーを養う。
到達目標	単に法制度の内容を知るだけでなく、そのような法制度がなぜ必要なのか、制度の存在理由について理解を深めることができる。また、具体的なWTO紛争事例（近年では、韓国による日本産水産物輸入制限事件や日本による韓国向け半導体素材輸出制限事件が目目されている）の検討を通じて国際経済法の内容と役割を実践的に理解できるようになる。

授業回	各回の授業内容	事前・事後学習の内容
第1回	WTO体制の概要	事前教科書pp. 47-68・事後レジュメ確認
第2回	WTOの紛争解決手続	事前教科書pp. 68-77・事後レジュメと事例資料確認
第3回	無差別原則1（最恵国待遇原則）	事前教科書pp. 104-110・事後レジュメと事例資料確認
第4回	無差別原則2（内国民待遇原則）	事前教科書pp. 111-114・事後レジュメと事例資料確認
第5回	市場アクセス問題1（関税に関する原則）	事前教科書pp. 115-119・事後レジュメと事例資料確認
第6回	市場アクセス問題1（数量制限の禁止原則）	事前教科書pp. 120-122・事後レジュメと事例資料確認
第7回	GATTの例外条項（一般例外と安全保障例外）	事前教科書pp. 122-124・事後レジュメと事例資料確認
第8回	地域経済統合（自由貿易地域と関税同盟）	事前教科書pp. 253-280・事後レジュメと事例資料確認
第9回	貿易救済措置1（アンチダンピング措置）	事前教科書pp. 139-151・事後レジュメと事例資料確認
第10回	貿易救済措置2（補助金相殺措置）	事前教科書pp. 151-157・事後レジュメと事例資料確認
第11回	貿易救済措置3（セーフガード）	事前教科書pp. 128-139・事後レジュメと事例資料確認
第12回	貿易の技術的障害(TBT)に関する協定	事前教科書pp. 184-196・事後レジュメと事例資料確認

第13回	衛生植物検疫措置(SPS)の適用に関する協定	事前教科書pp. 196-206・事後レジュメと事例資料確認
第14回	サービス貿易に関する一般協定	事前教科書pp. 207-218・事後レジュメと事例資料確認
第15回	貿易関連知的所有権協定	事前教科書pp. 218-233・事後レジュメと事例資料確認
第16回	期末試験	

成績評価方法	絶対評価による。定期試験70%、レポート課題20%、授業での貢献度（十分な準備をして授業に臨み、積極的に質疑応答したか）10%
履修上の注意	授業期間中、2回レポート課題を課す。
教科書	中川・清水・平・間宮『国際経済法 第3版』有斐閣（2019）
参考文献	浅田『国際法 第5版』東信堂(2022)第14章 松下・清水・中川『ケースブックWTO法』有斐閣(2009) 経済産業省WTOパネル・上級委員会報告書に関する調査研究報告書 (https://www.meti.go.jp/policy/trade_policy/wto/3_dispute_settlement/33_panel_kenkuyukai/kenkyukai.html)
その他	